

2023年11月2日

株式会社 GSET 代表取締役社長 是枝 秀治

1. デジタル技術が社会や当社の競争環境に及ぼす影響について

デジタル技術が社会や当社の競争環境に対して及ぼす影響を以下のように認識しています。検討においては、外部環境の分析フレームワークである PEST 分析および自社の環境分析のフレームワークである 3C 分析を活用しました。

(1) デジタル技術が社会に及ぼす影響

P : Politics 政治	デジタル技術の向上・普及が一般的なものであることを前提に政策が検討される。一定以上の機能を持ったデジタル端末を国民が持っていることを前提とした政策や学校教育におけるデジタル端末の活用など。
E : Economy 経済	デジタル技術の向上・普及により、社会全体の業務効率が向上し、経済成長率の向上が予想される。デジタル技術を積極的に活用する姿勢を取り続けないと、競合に対して遅れをとり競争力が失われてしまう。
S : Society 社会	スマートフォン、PCの性能は向上を続け、一般消費者でも高品質なデジタル製品を手に入れることができる。また、AIの活用により高度なアプリケーションの開発が進む。 例:個人所有のスマートフォンで多分野の学習が一般的となる（言語学習を含む）
T : Technology 技術	デジタル技術の向上・普及により、業務効率の向上や革新的な製品・サービスが生まれる。デジタル技術に関する知識・スキルの習得を計画的に行うことや、デジタル技術に精通した人材の採用の重要度が高まる。

Politics（政治）

近年では、デジタル技術の向上・普及が一般的なものであることを前提に政策が検討、実施されています。例として、マイナンバーカードをスマートフォンで読み取り e-Tax にログインするシステムや、マイナンバーカード作成に対し、電子マネーでのポイント還元などが挙げられます。学校教育においても、そういったデジタル技術を積極的に採用する動きがみられており、今後もデジタル技術を活用した政策が検討、実施されることが予想されます。

Economy（経済）

デジタル技術の向上・普及と併せて、業務効率化ツール等の普及も予想されます。これにより、社会全体での労働生産性が向上し、経済成長率の向上が予想されます。このような経済においては、デジタル技術の積極的な活用に取り組むことができない企業は競合に対して遅れをとり、競争力が失われ淘汰されることが予想されます。

Society (社会)

スマートフォン、PC の性能は向上を続け、一般消費者でも高品質なデジタル製品を簡単に入手できる環境となっています。例として、個人所有のスマートフォンで高品質な写真・動画撮影ができたり、個人所有の端末を活用して各分野の学習を効率的に行う事ができる社会となっています。今後も、デジタル技術の向上によって一般消費者に高品質なデジタル製品やコンテンツが供給されることが予想されます。

Technology (技術)

デジタル技術の向上・普及により、業務効率の向上や革新的な製品・サービスが生まれており、今後もこの傾向は続く見込みです。そのため、デジタル技術に関する知識・スキルの習得を計画的に行う事、デジタル技術に精通した人材の採用の重要度はさらに高まっていくと思われまます。

(2) デジタル技術が当社の競争環境に及ぼす影響

Customer 市場・顧客	高性能なスマートフォンやPCの普及、オンライン会議ツールの普及により、スクールに通わずとも自宅から様々な学習ができる環境が当たり前になっている。そのため、学習の利便性が高いことは当然のこととして、「学習の質」が以前よりも重視されることが予想される。
Competitor 競合他社	オフラインでの対面レッスンの数は減少し続け、Zoom等のオンライン会議ツールを活用した英会話レッスンや、スマートフォンアプリを活用したオンライン学習に注力する企業がより一層増加すると思われる。
Company 自社	オンラインでのマンツーマンレッスンをメインのサービスとしているが、会員数の上限は当社トレーナーの人数に依存しており、労働集約的ビジネスである。今後は、デジタル技術との親和性が高いトレーニング（発音・文型・単語等の学習）についてはデジタル技術を活用した革新的なサービスに任せ、人にしかできないお客様への提供価値※の向上に取り組み続け、厳しい競争環境で優位性をもって事業を営む。 ※会員の英語スキル習得状況を踏まえた今後の学習方法の提案、会員の成長に対する称賛を通じたモチベーション向上

Customer (市場・顧客)

高性能なスマートフォンや PC,オンライン会議ツールの普及により、学習の利便性は大幅に向上しています。そのため、学習の利便性が高いことは当然であり、「学習の質」が以前よりも重視されることが予想されます。当社は、「学習の質」にこだわり続け、「日本人が英語を学ぶという事に徹底的にフォーカス」し続けているため、このような市場・顧客のニーズに継続的に応えていきます。

Competitor (競合)

オフラインでの対面レッスンの数は減少し続け、Zoom 等のオンライン会議ツールを活用した英会話レッスンや、スマートフォンアプリを活用したオンライン学習に注力する企業がより一層増加すると思われまます。学習の利便性が高いことは当然となるため、各社とも利便性以外の部分で差別化を図る動きがあると思われまます。(コンテンツの工夫、料金など)

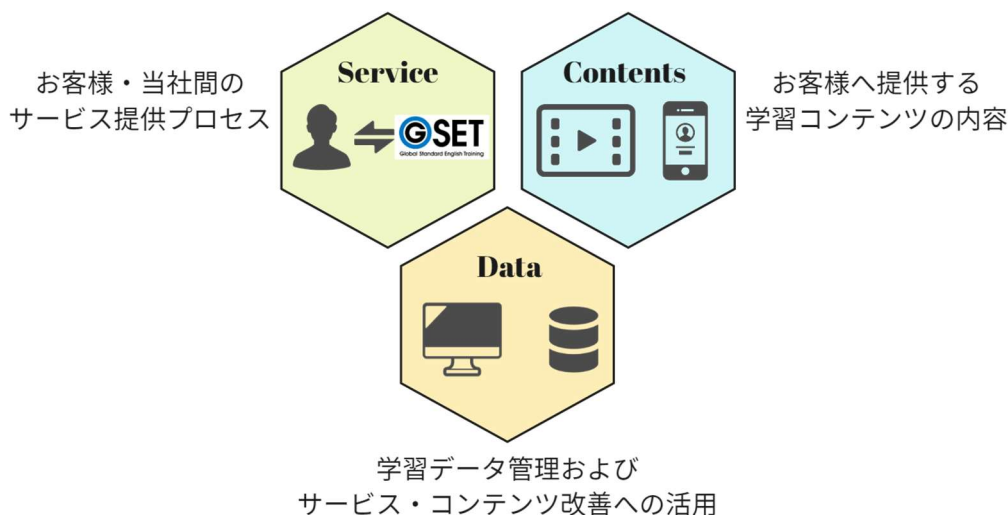
Company (自社)

オンラインでのマンツーマンレッスンをメインのサービスとしています。会員数の上限は当社トレーナーの人数に依存しているため労働集約的ビジネスであると言えます。今後は、デジタル技術との親和性が高いトレーニング（発音・文型・単語等の学習）についてはデジタル技術を最大限活用しつつ、人的リソースは人にしかできないお客様への提供価値※の向上に注力し、厳しい競争環境で優位性をもって事業を営んで参ります。

※会員の英語スキル習得状況を踏まえた今後の学習方法の提案、会員の成長に対する称賛を通じたモチベーション向上など

2. 経営ビジョン

上記を踏まえ、当社は「デジタル技術を活用し、海外で通用する英語人材を増やし続ける」をデジタル技術視点での経営ビジョンとします。ビジョン策定にあたっては、以下の3つの視点（Service・Contents・Data）が重要と考えました。



Service

デジタル技術の活用により、お客様へのサービス提供プロセスの改善に取り組みます

例：スマートフォン・PCを活用した学習

Contents

デジタル技術の活用により、お客様へ提供する学習コンテンツの品質向上に取り組みます

例：AIを活用した発音判定システムや英会話フレーズ定着トレーニングシステム




Data

デジタル技術の活用により、学習データ管理の効率化およびそれらのデータに基づいたサービス・コンテンツの改善に取り組みます

例：デジタル技術を活用し会員の学習データを習得。コンテンツの改善に反映する。

3. 経営ビジョン実現のための戦略

経営ビジョン実現のため、Service、Contents、Data の 3 つの視点について、以下のように戦略を定めます。

Service		最新のデジタル技術の状況・活用事例等を確認し、常にサービス提供プロセスの改善やサービスそのものの改善に取り組みます。
Contents		最新のデジタル技術の情報および、デジタル技術を活用したコンテンツの情報を収集し、常にお客様にとって価値のある学習コンテンツの開発に取り組み続けます。
Data		デジタル技術を活用した学習コンテンツ提供にあたり、各会員の学習データを習得することで学習効果の確認や、コンテンツの品質向上に活用します。

4. 戦略を実施するための体制

経営ビジョンの実現および、戦略を推進するための体制として CIO（最高情報責任者）に是枝秀治を、CISO（最高セキュリティ責任者）に Bryan Salazar を任命します。

また、CIO、CISO の配置に加えて従業員にも経営ビジョン・戦略を共有し、必要な知識・スキルの習得に取り組みます。

以上